

「教員のための金融教育セミナー」

実践報告配付資料

平成28年8月22日

新潟県立十日町高等学校

# 平成26・27年度 金融教育実践報告

## 【はじめに】

平成27年に創立90周年を迎えた伝統校である。平成27年度は全日制普通科22クラス（1学年7クラス・2学年7クラス・3学年8クラス）、定時制普通科4クラス（各学年1クラス）、全校生徒約930名の大規模校である。

「礼節 勤勉 質実 快活 自律」の校訓の下、生徒は勉学と部活動に励んでいる。生徒の約5割が大学・短大へ進学している。部活動においてはスキー部をはじめ、空手道部や陸上部が毎年全国大会に出場するなど、活発に取り組んでいる。

## 【研究の概要】

### 1 金融教育研究校の目的

本校では、平成26年4月から平成28年3月まで新潟県金融広報委員会の指定を受け、「金融教育研究校」として活動することとなった。「金融教育研究校」は、生徒・児童・幼児それぞれの発達段階に応じて、現在および将来の生活を支え得る金融・経済に関する正しい知識の習得または金銭や物に対する健全な価値観の養成をはかるため、具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究することを目的に活動している。

### 2 本校における金融教育の取り組み

#### (1) 本校における金融教育の目標

金融の仕組みと働きを正しく理解し、金融市場の動向による消費や景気の変動など、我々の生活に与える影響について深く考え、よりよい生活や社会を形成することができる資質と態度を養う。

#### (2) 金融教育の目標設定の理由

近年、消費生活をめぐるトラブルや金融トラブルが新聞やニュース等で取り上げられることが多くなっている。金融や経済の働き・仕組みなどを生徒一人ひとりが正しく理解し、自らの暮らしとの関係や経済の諸課題について主体的に考え、リスクをしっかりと把握し適切に判断、行動する態度を身に付けさせたいと考え、上記目標を設定した。

(3) 本校における金融教育の取り組みの概要

○平成26年度

月	活 動
6月	金融教育協議会参加
7月	日本銀行見学
8月	教員のための金融教育セミナー(中央)参加
	教員のための金融教育セミナー(新潟)参加
	「国際経済体制の変化」「金融のグローバル化」(3年 政治・経済総合)
9月	「市場機構」(2年 政治・経済)
	「地域経済統合」「経済協力」(3年 政治・経済総合)
10月	「現代の企業」(2年 政治・経済)
	「国民所得と経済成長」(2年 政治・経済)
11月	「金融のしくみ」(2年 政治・経済)
	「財政の仕組み」(2年 政治・経済)
12月	「日本の中小企業」(2年 政治・経済) ○十日町ビジネスコンテストに参加し、商品開発や起業について学ぶ
1月	「日本経済のあゆみ」(2年 政治・経済)

○平成27年度

月	活 動
6月	金融教育協議会参加
7月	平成27年度 新潟県金融教育協議会開催(十日町高等学校)
	「国際収支」「外国為替相場のしくみ」(3年 政治・経済総合)
8月	「国際経済体制の変化」「金融のグローバル化」(3年 政治・経済総合)
	教員のための金融教育セミナー(新潟)参加
9月	「市場機構」(2年 政治・経済)
	「地域経済統合」「経済協力」(3年 政治・経済総合)
10月	「現代の企業」(2年 政治・経済)
	「国民所得と経済成長」(2年 政治・経済)
11月	「金融のしくみ」(2年 政治・経済)
	「財政の仕組み」(2年 政治・経済)
12月	「日本の中小企業」(2年 政治・経済) ○商品開発や起業について学び、十日町ビジネスコンテストを主催する十日町市役所の担当者様から講評をいただいた
1月	「日本経済のあゆみ」(2年 政治・経済)
	「巣立ち教室」の実施(3年 現代社会)

#### (4) 十日町ビジネスコンテストについて

2学年の政治・経済の授業で扱う「日本の中小企業」のなかで、十日町ビジネスコンテストに参加することにより、商品開発や起業について学ぶこととした。消費者として経済の事象を考えるだけでなく、企業や生産者としての立場に立つ経験を学ぶ機会を得ることができた。

授業においては、夏期休業中に生徒一人ひとりが地元をアピールできる商品開発をテーマにビジネスプランを考えた(資料1・2)。そのビジネスプランをクラス内の6つの班で採点、検討(資料3)し、班代表のビジネスプランを決定した後、クラス代表の企画を決定した(資料4)。その後、各クラスの代表チームが十日町市の担当者から審査を経て、講評をいただいた。また、平成26年度には十日町高校の代表を選出し、十日町ビジネスコンテストの本選に大学生とともに参加させていただき、「チャレコン大賞」を受賞した(資料5・6)。その後、十日町高校代表チームが発表したビジネスプラン(「DOKI BIZ 火焰型土器発信プロジェクト どきどきまんじゅう」)が平成27年8月5日より「土器ドキ最中」として商品化され、現在、市内で販売されている(資料7)。

#### (5) 十日町ビジネスコンテストと金融教育との関わり

金融教育プログラム 学校における金融教育の年齢層別目標 (H27年3月発行) より

学校における金融教育は、子どもたちが「お金や金融の様々なはたらきを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う」ことを目的としている。(P17)

[高等学校] ② 金融や経済の仕組みに関する分野 < 経済把握 <

(P8) < ○企業の成立、存在意義、社会的機能について理解する(公民、商業)

#### 資料1

平成26年度第2学年【政治・経済夏休み課題】第3編-現代社会の諸問題②自立する中小企業

### チャレンジ！「トオコン」(掲載企画名「チャレコン-十日町に行こう！-」)について

- はじめに 2014年、新聞のおせんべい屋さんである「岩塚製菓株式会社」が、東京の「品川女子学院(中等部)」とコラボレーションした商品「べっぴん」を発売しました。最近、前述の企画のように、企業と学生とのコラボレーションを通じて新しい商品を生み出し、また学生が、なりたい自分を考える機会を得るという取り組みをよく耳にします。そんな中、この十日町市でも、「トオコン」というビジネスコンテストを実施していることを、みなさんは知っていますか？本物の「トオコン」では、参加資格が大学生に限定されていますが、身近にこのような取り組みがあるのなら、是非十日町高校生にも挑戦してほしい！そんな思いから、平成24年度から政治経済の授業では、校内版の「トオコン」を実施しています。
- 企画の目的 ・十日町市の「良さ」を、そこに暮らす自分達が発見・認識する。  
・教科書「第2編第3章現代社会と福祉の向上-②日本の中小企業と農業」「第3編現代社会の諸問題-②自立する中小企業」の内容を理解する。  
・十日町にある「良いもの」をビジネスとして売り込む方法を10代の感覚で考え、「起業」を体験する。
- 今後の手順 ①夏休み課題として、課題「コンセプトシートその1」を仕上げる。  
②1学期最初の政経授業で提出する。  
③10月上旬の政治経済授業を通じて、クラス代表企画を選出。  
④10月下旬に、学年(2年文系) グランプリ作品を決定。
- その他 ・校内企画名について 平成24年、本物の「トオコン」に参加した大学生が本校でインタビューを行った際、当時の3年生の中から「どっか行こうって時に、「十日町行こう！」ってならないじゃん」という声がありました。ならば、是非、みなさんの感覚で「十日町に行こう！」と言いたくなる町作り・商品開発案を出していただきたいと、上記サブタイトルをつけました。  
・「トオコン」のテーマ 平成26年度「トオコン」のテーマは、「私がやりたい、十日町ビジネス！(観光・イベント事業を除く)」です。十日町を全国に(世界に！?)ブレイクさせるようなビジネスプランを期待します。  
\*上記テーマがわかりにくいという人、「今十日町市にある“モノ(農産物・商品・自然等)・ヒト”を、どうやったら“もっと売り出せるモノ・人材”に変えられるか、という考え方を持ってみてください。  
例) 十日町の「箱物」→スマートフォンカバーへ活用 (2冊教科書裏側の掲示版に掲示中)  
(平成25年度1年生作品\* (株)さほどや様より商品化 「きもの・ふ」。販売中)

資料 2

平成 26 年度第 2 学年【政治・経済】夏手休集中課題（2 学期最初の政治経済の授業時間に出向きへ提出）

“チャレコン - 十日町へ行こう！ - ”コンセプトシート(その1)

2 年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

テーマ 私がやりたい、十日町ビジネス+（観光・イベント事業は除く）

(注)十日町にあるどんな「モノ・サービス」を商品化するか「アイデア」欄に、鏡み手に伝わるように記入すること。

アイデア

○お客様としてターゲットは？  
【どんな人たちがお客様になりそう？】

○どうやって売り込む？  
【どんなお店・場所でする？】

【そこで売れると思う理由は？】

【お値段はいくらで売る？】

○この商品・サービスのセールスポイント（良いところ・競合製品との違い）は？

○この商品・サービスを使った人が得られるメリットは？

○商品・サービスのPR（宣伝）方法は？

資料 3

平成 26 年度第 2 学年政治経済授業企画「チャレコン1」

クラス代表企画審査用紙

2 年 組 番 氏名: \_\_\_\_\_

\*次の審査項目について、代表企画にしたいものを「4」とし、4〜1で審査。合計点を算出。

	1班	2班	3班	4班	5班	6班
①十日町らしさ						
②実現性						
③地域経済への影響力						
④収益性						
⑤資料の充実度						
合計点						

(審査項目の詳細)

- ①十日町らしさ＝一日町市内で事業展開する可能性があるか。
- ②実現性＝社会的なニーズはあると思うか、あるいは、市内事業所とのマッチング可能性はあるか。
- ③地域経済への影響力＝地域経済に与える経済効果が大いと思えるか。
- ④収益性＝学生らしい斬新さがあるか。
- ⑤資料の充実度＝外部審査員の方々に提出できるような充実した資料となっているか。

私が選ぶ代表企画は――

班 1

第2学年政治経済授業企画 チャレコン!～十日町へ行こう～ クラス選出作品

○2年 2組 5班 選択テーマ番号 番

## 企画名

生活に着物を取り入れて十日町の伝統に触れよう!!!

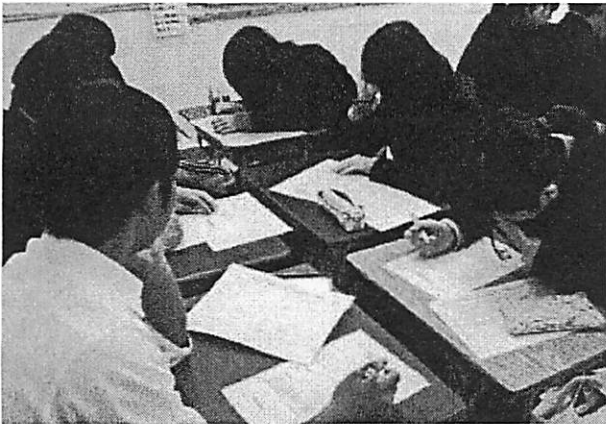
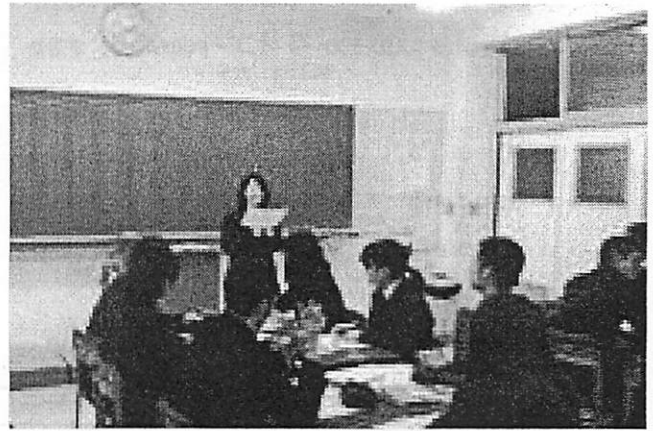
### 目次

- ・この企画でねらいたいこと
- ・企画のコンセプト
- ・企画のメリット
- ・企画イメージ図
- ・企画の詳細
- ・参加メンバー

## 企画イメージ図

○商品（またはイベント）全体図（写真も可）





資料 5

**十日町市ビジネスコンテスト season5**  
**トオコン本選会**  
 日時：H26.12.20 (土) 13:00～ 会場：クロスステン 2階 中ホール

進出プラン一覧 <発表順>

No.	時間(目安)	進出プラン名	趣旨(概要)	チーム名(所属大学)
1	13:15～	TKG～十日町ご飯～	十日町にある様々な食材を使って、美味しい朝食が出来上がった。これを日本全国に向けて発信できるように在籍にして、一日を美味しく始められるようなセットを提案する。また災害時のおいしい非常食としても活用してもらい、伝播を通じて、十日町の産材を全国にPRする。	湯山研究室 (千葉工業大学)
2	13:40～	米粉めんが被災・アレルギー人を救う	米粉は食物アレルギーを持つ人や同じ悩みを持つ人の災害避難時に少しでも満足してもらえるような食を提供できる。米どころでもある十日町で米粉100%の米粉麺を新しいまちおこしグルメとして提案。	松本ゼミナール (長崎大学)
3	14:05～	TOSTAweb	5つの方法で訪日外国人を受け入れ、今後増えていく訪日外国人を接待するための事業。①訪日外国人向けの十日町 Web サイトの製作 ②訪日外国人旅行者の紹介・送迎 ③海外の訪日旅行情報サイトとの連携 ④市内の訪日外国人受け入れサポート・情報発信 ⑤訪日外国人を受け入れるゲストハウス・Cafe&Bar 運営。	TOSTAweb (東洋大学・法政大学)
4	14:45～	十日町を燈火の印へ ～あいあいハンカチ付き機織クッキー～	十日町産の火焔型機織文土器を2020年の東京オリンピックの燈火台のデザインに採用しようとする動きに賛同し、機織文化が日本中と世界にもっと認知されることを願い、「機織クッキー」を企画。さらにこの産品に結び合わせる「機織土器シリーズのハンカチ」を十日町市内の企業支援のもと実現しセット販売。	経済学部文化経済学科 金ゼミ(新潟産業大学)
5	15:10～	赤ちゃん服×着物プロジェクト	十日町の着物生地を使った赤ちゃん用の衣服販売事業。十日町市内の袴江と連携し、着物生地に赤ちゃんの成長を祈る縁起物をし、製作・販売する。新生児・乳幼児向けの着前での新たな価値をつくることで、伝統産業を促進させるプロジェクト。	Rervitz (法政大学)
6	15:35～	十日町フォトタクシービジネス	十日町の美しい自然や景観を撮影するカメラマンは多い。だが県外から訪れた人達にとっては山道など田舎の案内のない道の運転には抵抗がある。またマイカーがない人もいる。車賃という切り口で、現在、利用数の少ないタクシーを利用して、観光客の増加を図る。新しいタクシー事業。	チーム学生まれ (長岡造形大学)
-	16:00～	DOKI BZ「火焔型土器」発信プロジェクト		十日町高校2年1組

※3 チーム目終了後 15 分間休憩(進行具合により調整) ※結果発表は 16:50 を予定

\* 本選会は USTREAM による「生中継」も行います。詳しくは、専用ホームページへ GO!! <http://www.tooccon.jp/> \*

十日町市ビジネスコンテスト「トオコン season5」本選会  
～当日シナリオ～

日時：平成26年12月20日(土)午後1時～  
場所：クロスステーション 2階 中ホール

1. 開 会 (13:00)

2. 主催者あいさつ 十日町市長 関口 芳史

3. 審査員の紹介

4. 本選会の進行説明

5. 企画プレゼンテーション (13:15)

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| ① TKG～十日町こ製～                | (連山南産塾)                   |
| ② 米麹ゆがね餅・アレルキー入をさう          | (秘本ゼミナール)                 |
| ③ TCSTAweb (とすたどっとウェブ)      | (TCSTAweb)                |
| ～休憩～                        |                           |
| ④ 十日町を薪火の町へ～あいの心かき付さぬ文クッキー～ | (新潟産業大学経済学部<br>文化経済学社金ゼミ) |
| ⑤ 赤ちゃん緑×器物プロジェクト            | (Revalz)                  |
| ⑥ 十日町フォトタクシービジネス            | (チーム多生まれ)                 |
| ⑦ DOKI BIZ「火焔型土器」発掘プロジェクト   | (十日町高校2年1組)               |

\*1チーム15分間プレゼン、10分間質疑  
\*1チーム1応募 (◎は審査対象外)

6. 結果発表 (16:50) 十日町市産業観光部長 渡辺 正純

7. 表彰・総評 (17:00) 十日町市長 関口 芳史

8. 閉 会 (17:15)



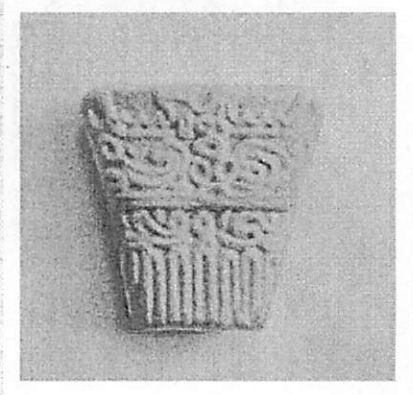




十日町ビジネスコンテストに入選した十日町高校生徒さんの提案を基に、国宝火焔型土器をモチーフにした最中を作りました。

皮には十日町産のもち米を使い、中身には北海道産小豆の小倉餡をたっぷり詰めました。お菓子の帯は着物のデザインになっています。

市制10周年合併後の式典のお土産としても使って頂きました。



1個 ￥160  
5個箱入 ￥950  
10個箱入 ￥1,805  
賞味期限 2週間位  
特定原材料 なし

木村屋HP (<http://tokamachi-kimuraya.com/archives/269/>) より

# 火焰型土器 召し上げられ

15. 8. 25  
新報日

## 十日町高生原案 もなか商品化

十日町市から出土した縄文時代の国字火焰型土器をアピールしようとして、土器をモチーフにした「とおかまち 土器ドキ屋中」が発売された。原案を練ったのは十日町高校に通う3年生6人のチーム。生徒は「もなかがを通じて、十日町がもっと活性化すればいい」と話している。

十高では文系選択の2年生5クラス約200人が、政治経済の授業の一環で、地域の特徴を生かしたビジネスプランを競う「チャレンジシートコン」を行っている。このチームは2年生だった昨年、授業で「火焰型土器のまち十日町」の知名度を上げる方法を議論した。まんじゅうが大好きというメンバーの石沢知之さん（18）が「幅広い世代が手に取りやすいまんじゅうを土器の形にしよう」と提案。生地は米粉やそば粉を用い、包装は着物地を使う。十日町つくしのプランをチームで練り、クラス内選考を通過。市産業政策課が審査する本選でも5チーム中最優秀となった。

プランの面白さに着目した市が事業化できる業者を探していたところ、十高OBで和菓子店「木村屋」社長の関口純夫さんが「地元のものを取り入れるセンスが抜群。想像の力になりたい」と名乗りを上げた。

商品化の過程でまんじゅうではなくもなかにするこゝとになり、十日町産のもち米を皮に使うアイデアも取り入れながら完成させた。石沢さんは「火焰型土器が東京五輪の聖火台のデザインに使われることにもつながればいい」と期待する。1個160円、5個入り



十日町高校の生徒のアイデアを生かして完成させた「とおかまち 土器ドキ屋中」＝十日町市

950円。少量生産のため「要、問い合わせは木村屋、多く買う場合は予約が必要」025(733)22280。